

- 活動報告2015 1月～6月
- 歌舞伎鑑賞会・工場見学
- 理事会・評議員会開催
- UNUアケイティレポート

活動報告 2015年1月～6月

国連大学協力会では、国連大学大学院に学ぶ学生に、日本文化に触れ合う場や、日本企業への見学機会を提供するなど、課外活動の支援を行っています。2015年度は、これまでに歌舞伎鑑賞プログラムと工場見学プログラムを企画・実施しました。

工場見学プログラム

6月23日、国連大学協力会のjfScholarship 特別賛助会員として、国連大学協力会並びに国連大学へ多大なご支援をいただいている大手自動車メーカー、トヨタ自動車株式会社様のご厚意により、愛知県豊田市にある元町工場を見学しました。

今回の見学会に参加した学生は、2015年度国連大学大学院を卒業する6名を含む9名。国連大学本部に集合した一行は、新幹線のぞみで名古屋へ。午後1時に目的地である元町工場正門に到着し、見学ツアーがスタート。最初に入った組立工場では、組立てラインに流れてくる車のボディにエンジン、タイヤ、その他の部品が取り付けられる工程を見学しながら、コース途中では、ゲーム感覚の部品はめ込み作業や機材の重さの体験もしました。続く溶接工場では、ロボットによる部品溶接の様子を見学、時折火花の散る迫力ある光景に全員が釘付けになりました。



続くトヨタ会館では、バイオリンロボットによる演奏の様子をカメラに収めたり、安全シミュレーションを体験したりと、思い思いに館内を回りました。

その後館内会議室に於いて、トヨタ自動車(株)企業PR室の永島主任係長との質疑応答の時間を設けていただくことができました。学生たちからは「環境問題」、特にリサイクルや大気汚染に絡めた質問が多く、また永島主任係長からの、「東日本大震災のとき、電気自動車を被災地に持ち込み、各家庭への電力供給をおこなった経験をもとに、夜間安価な電力料金で電気自動車に充電し、日中その電力を活用する、そんな車の使い方も視野にいれている」とのお話に関心を示していました。

帰路の新幹線の時間が気になりつつ、できうる限り学生たちの質問にお応えいただいたことに、学生を代表してKomolafeさんから御礼の言葉を述べ、トヨタ会館を後にしました。



歌舞伎鑑賞

今回で8回目となる歌舞伎鑑賞会。桜の蕾がほころび始めた3月22日、国立劇場での鑑賞会に国連大学サステイナビリティ学研究所の大学院生とフェロー約30名が参加しました。

400年の歴史を誇る日本の伝統文化「歌舞伎」。演目は「梅雨小袖昔八丈一髪結新三(つゆこそでむかしはちじょう—かみゆいしんざー)」。明治6年(1873年)6月東京中村座初演で、河竹黙阿弥が五代目尾上菊五郎のために書き下ろした世話物の代表作です。主人公新三のいなせな風情と悪党ぶりが生き生きと描かれ、悪の本性を顕す傘づくしの啖呵、初鯉に大金をだす気風のよさ、老獪な大家にしてやられる面白さなど、みどころの連続に、参加者たちは言葉の壁を超えて、“the vibrant color of the costume” “a great glimpse of Japanese culture” “a good peek at the Japanese culture”と4時間の公演にぐびげでした。



The building and the whole spaces of the National Theatre are so impressed.

The stage design, the production, the colors...everything

...difficult to understand the play because of the language barrier...

国連大学協力会理事会・評議員会を開催

3月16日、国連大学本部ビル5階のエリザベス・ローズホール会議場にて、第27回理事会・第16回評議員会が開催され、国連大学協力会の役員をはじめ、国連大学の関係者や関係各省からの出席者を含め、総勢22名が参集しました。事務局から2014年度国連大学協力会の事業報告・決算報告が行われ、審議の結果、異議なく承認されました。

会議に先立ち、国連大学の武内和彦上級副学長から国連大学の最近の動向について、今年、国連大学創設40周年、国連創設70周年を迎えるにあたり、国連大学は様々なイベントを計画していること、昨年国連大学本部内に設立された政策研究所（Center for Policy Research）は、国連を中心とした国際機関の政策に対して、より直接的な貢献を図るべくその活動を強化中であることが紹介されました。

また、国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）に設置されている大学院サステナビリティ学研究科が、日本国の「大学評価・学位授与機構」（文部科学大臣より認証された大学評価機関）の評価によって3月末に認定される旨の通知を受けたことも紹介されました。

国連大学サステナビリティ高等研究所の竹本所長からは、UNU-IAS 大学院では、今年初めて博士を輩出することができる見込みであり、学生達が順調に博士論文の仕上げに臨んでいるところであること、また、2015年度の学生募集が現在進行中であることが報告され、優秀な学生の確保のために、国連大学協力会から受ける奨学金は大変有効であるとの感謝の意が表されました。

国連大学協力会の事業報告・財政報告についての詳細は、国連大学協力会ホームページよりご覧いただけます。

UNUアクティビティレポート

潘基文国連事務総長と安倍首相が
国連の新しい方向を議論

3月16日、国連大学は外務省と協力して国連創設70周年を記念するシンポジウム「岐路に立つ国連：改革と刷新の年に向けて」を開催し、潘基文（パン・ギムン）国連事務総長と安倍晋三首相が出席しました。

世界中で数々のサミットが開催される1年を迎えるにあたり、国連はほぼすべての活動領域について政策と実務の見直しを進めています。このイベントでは、平和と安全、開発、人道支援といった分野において急速な進化を遂げる一連の課題に対応するために必要となる組織改革および新たな政策イニシアチブを取り上げました。

詳しくは国連大学ホームページ <http://jp.unu.edu/news/> をご覧ください。

国連大学協力会 ホームページでは
国連大学・国連大学協力会・活動・具体的・
紹介しています。

URL <http://www.jfunu.jp/>

